R1 SG 台湾 FW

11/4（土）

今日は村尾さんプレゼンツ 2 日目。

まずは台湾のお土産の定番、パイナップルケーキ工場へ。実際に自分達でも作ってみました。とても楽しい作業で、皆で童心に帰りました。焼き上がりを待っている間に工場内を見学。大きなパイナップルのトンネルを潜っていくと、プロジェクターで映し出されたキャラクター達が陽気に飛び跳ねています。まるで遊園地。こうした趣向は、観光工場という名前で台湾では一般的だそうです。楽しくて、美味しくて、購買意欲まで刺激してしまうこのシステム、岩手県内の工場にもぜひ取り入れてほしいんだ、と村尾さんの思い。生徒達が大人になった時、きっと実現してくれるはずです。

昼食は村尾さんセレクトの、新北市のダウンタウンにある、ディープな鳥料理屋さんへ。地元のお客さんしか来ないようなお店で、本場の鳥料理に舌鼓を打ちました。また、村尾さんから台湾における地場産業活性化の取り組みについて、お話いただきました。鍵は特色を県ごとに分けることのようです。台北や台中、高雄といった大都市に偏らず、一つひとつの県が売りを持って、そこでしか得られない体験をおもてなしする。地方レベルでは北海道との差別化に悩む東北、県レベルでは青森、秋田、宮城との差別化に悩む岩手にとって、示唆に富むお話でした。

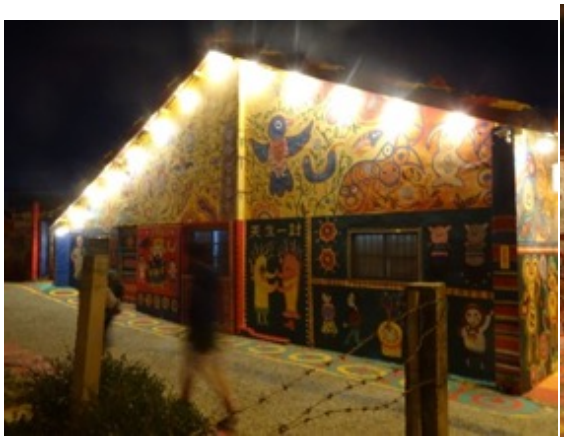
昼食を取った後は、小籠包屋さんへ。ここも DIY (Do it yourself) で工程も含めて美味しいものをいただける観光工場の一種です。小籠包とハニートーストをいただき、心もお腹も満足になりました。

その後は貸切バスに乗り、一路台中へ移動。

台中では、小さな集落それ自体をカンバスに、おじいさん一人で群像に染めてしまった、「虹の村」に立ち寄りました。色鮮やかに彩られた民家は、独特の楽しげな雰囲気をまとい、訪れる人を幸せな気持ちにしてくれます。ちょうどそのおじいさんが、小道に作品を描いているところに遭遇。芸術の生まれる瞬間を目の当たりにしました。

夕飯は台湾一の規模を誇る逢甲夜市でそれぞれ摂った後、ホテルに到着。

いよいよ明日は村尾さんプレゼンツのプログラム中、一大イベントである、田中マラソン参加です！現地まで移動に時間がかかるので、朝が非常に早いですが、そうした苦労も旅の常。若さで乗り切って欲しいです。

ちなみに本日から、盛岡一高関係者がもう一人混ざっています。誰でしょうか。ウォーリーを探せ！

泰山甕缸雞